

2024年度第3回川崎市PPPプラットフォーム意見交換会 結果概要

「武蔵溝ノ口駅周辺でのデジタルサイネージの導入に向けた民間活用」について、意見交換会を実施しましたので、その結果を公表します。

事業名	武蔵溝ノ口駅周辺でのデジタルサイネージの導入に向けた民間活用について
実施日時	令和6年11月26日(火)、令和6年11月27日(水)
参加事業者数	全4社（個別対話で実施）
主なご意見 (設置場所や 想定内容等)	● 現行の設置検討場所は天井が低く、目線に近い高さであることから視認性が高いと感じる。 ● 現行の設置検討場所の天井が低いため、天吊りの場合、歩行者に圧迫感を与える可能性がある。 ● 躯体の構造的に可能であれば天井から吊るして設置するのが望ましい。 ● 他の駅でも実績のある柱巻き型のサイネージが適していると想定される。 ● 横型の映像が主流のため、縦型だと顧客は既存データの修正作業が必要になるため、設置当初はコンテンツの流用が難しいことが懸念される。 ● 放映コンテンツについて、縦型が主流になりつつもある。 ● 放映コンテンツについて、止まることが想定されない通路の場合は15秒でも長い、本件のようにデジタルサイネージを連続的に設置すれば支障はないと想定される。 ● 脱炭素の啓蒙が目的であれば、デジタルサイネージに限らず検討してもよいのではないか。 ● 動画が適している場合と静止画が適している場合があるため、両方放映できる機器が望ましい。 ● 本件のような半屋外の場合、低電力のサイネージは輝度の観点から難しいと想定される。
その他	● 静止画ではあるが、「電子ペーパー」であれば電力消費も少なく、本件の「脱炭素」事業にもマッチすると想定される。 ● 躯体の構造を把握する必要があるため、躯体設置事業者とヒアリングが必要ではないか。
今後の対応	今回の意見交換会でいただいた御意見を参考に、引続き有効策の検討を進めてまいります。

【問合せ先】
川崎市環境局脱炭素戦略推進室 笠松、澤田 電話：044-200-3871